高校生の公共交通利用に関する調査結果

令和４年度　浜田市との共同研究

西藤真一（島根県立大学）

調査の背景について

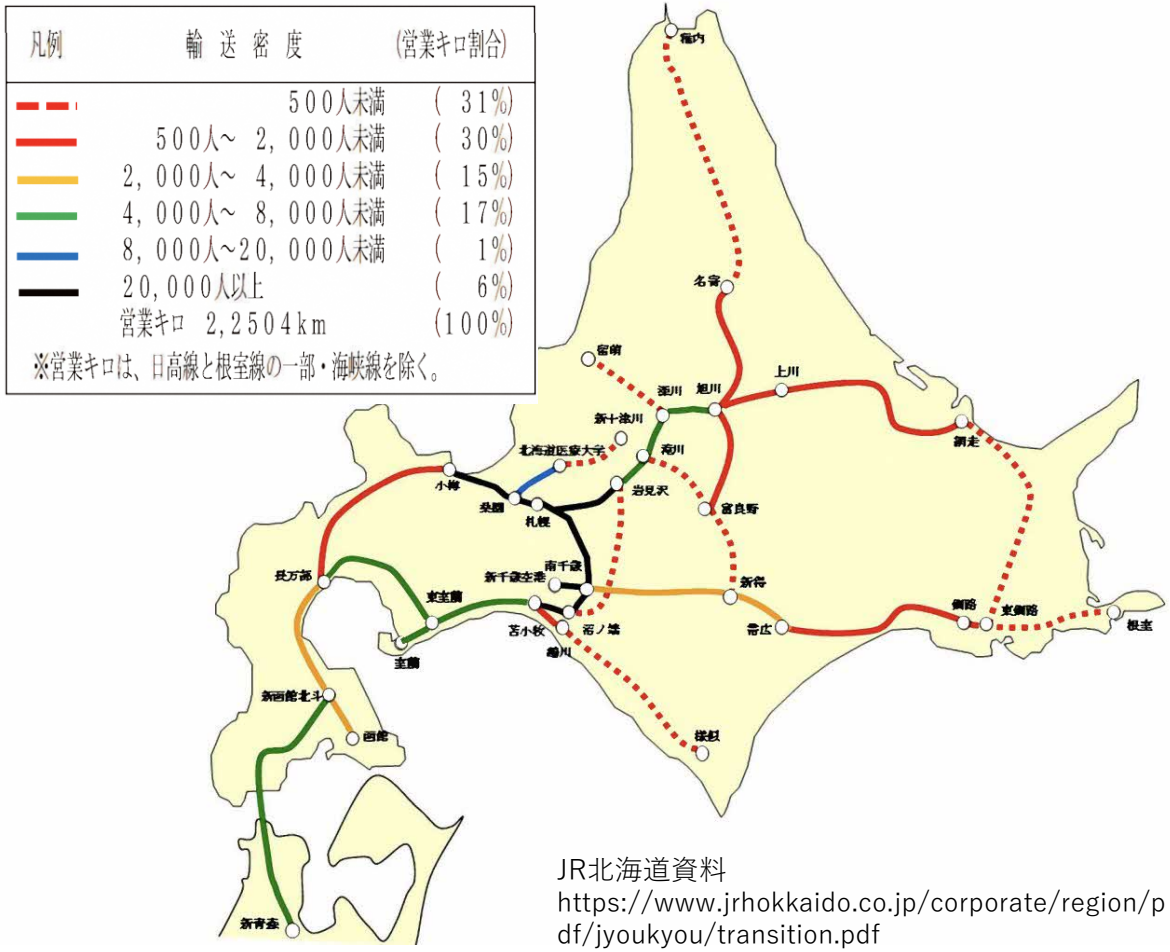
鉄道事業者の経営悪化

JR西日本：赤字線区の公表（2022.4.11）

（出典）JR西日本プレスリリース　2022年4月11日付
https://www.westjr.co.jp/press/article/items/220411_02_local.pdf

JR北海道：単独で維持困難な路線の公表（2016.11.18）

令和元年度　お客様のご利用状況

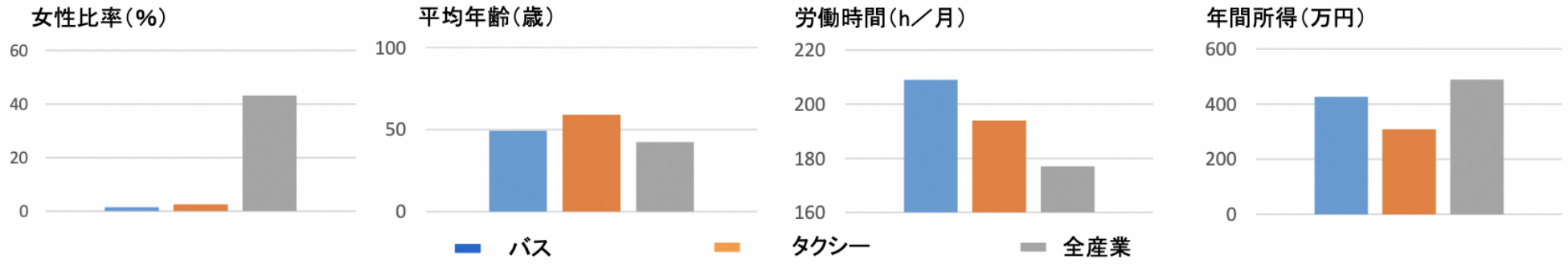


JR北海道資料
https://www.jrhokkaido.co.jp/corporate/region/pdf/jyoukyou/transition.pdf

JRとなって維持できると考えられたはずの地方路線が維持できなくなりつつある
国鉄改革から35年をすぎたいま、現代社会に適した鉄道のあり方を考える時期にある

深刻なドライバー不足

厳しい環境にある自動車運転事業等の就業構造



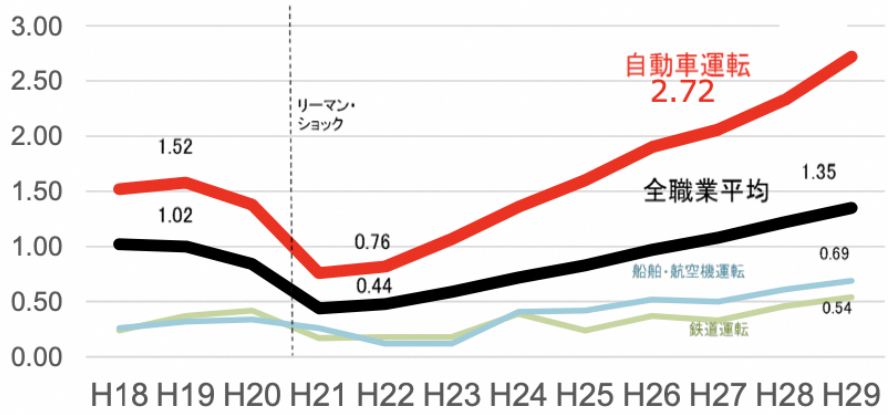
注1：労働時間＝「賃金構造基本統計調査」中「所定内実労働時間数＋超過実労働時間数」から国土交通省自動車局が推計した値
所定内実労働時間数＝事業所の就業規則などで定められた各年6月の所定労働日における始業時刻から終業時刻までの時間に実際に労働した時間数
超過実労働時間数＝所定内実労働時間以外に実際に労働した時間数及び所定休日において実際に労働した時間数
注2：年間所得額＝「賃金構造基本統計調査」中「きまって支給する現金給与額×12＋年間賞与その他特別給与額」から国土交通省自動車局が推計した値
きまって支給する現金給与額＝6月分として支給された現金給与額（所得税、社会保険料等を控除する前の額）で、基本給、職務手当、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、超過勤務手当等を含む
年間賞与その他特別給与額＝調査年前年1月から12 月までの1年間における賞与、期末手当等特別給与額
資料：総務省「労働力調査」、厚生労働省「賃金構造基本統計調査」、日本バス協会「日本のバス事業」、全国ハイヤー・タクシー連合会「ハイヤー・タクシー年鑑」より、国土交通省総合政策局作成

国土交通省資料

- 労働条件の観点（労働時間が長い一方、給与水準も低い）から、特に若年層は就労を敬遠する傾向がある
- 運転手の人手不足は全産業の平均よりも高水準
  （有効求人倍率は約2倍）
- 採算性を理由にした撤退以外に、ドライバー不足を理由とした路線撤退が全国的に見られる

自動車運転事業の人手不足

有効求人倍率（常用パート含む。）の推移



（出典）厚生労働省「一般職業紹介状況」より国土交通省総合政策局作成

本調査の主眼

- 公共交通利用におけるおもな利用者としての高校生に注目

1. 通学手段はどうなっているのか
2. 通学以外で公共交通を使うのか・どこに行くのか
3. 交通に対する意見

アンケートの実施

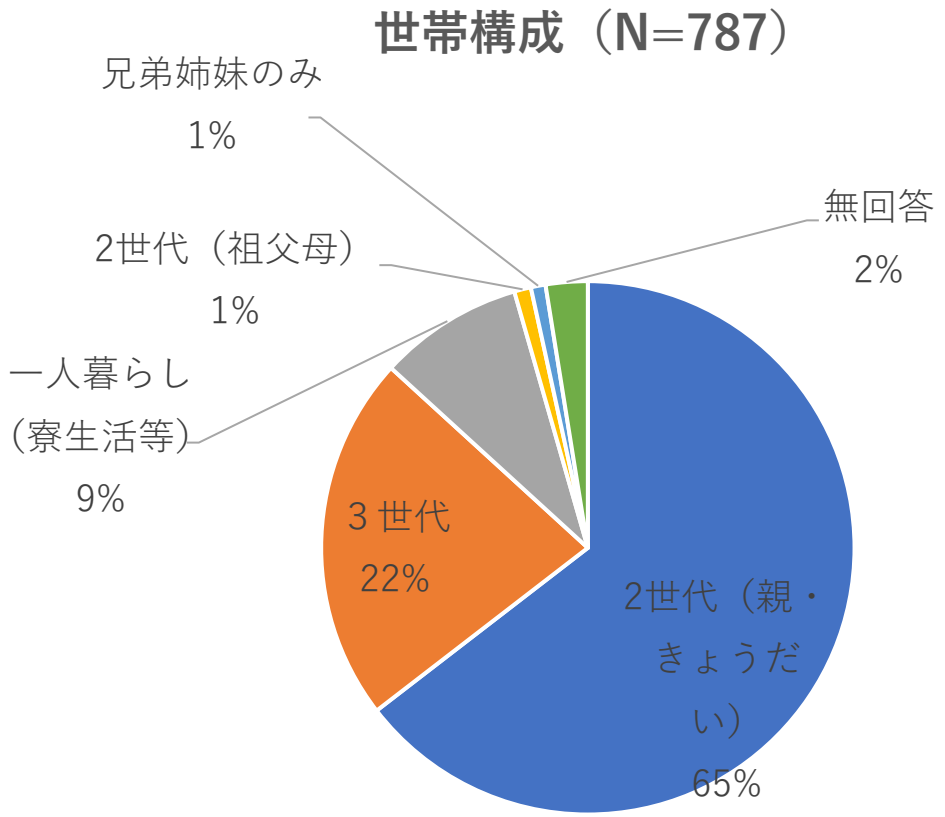
- 配布時期
  - 2022年12月～2023年1月

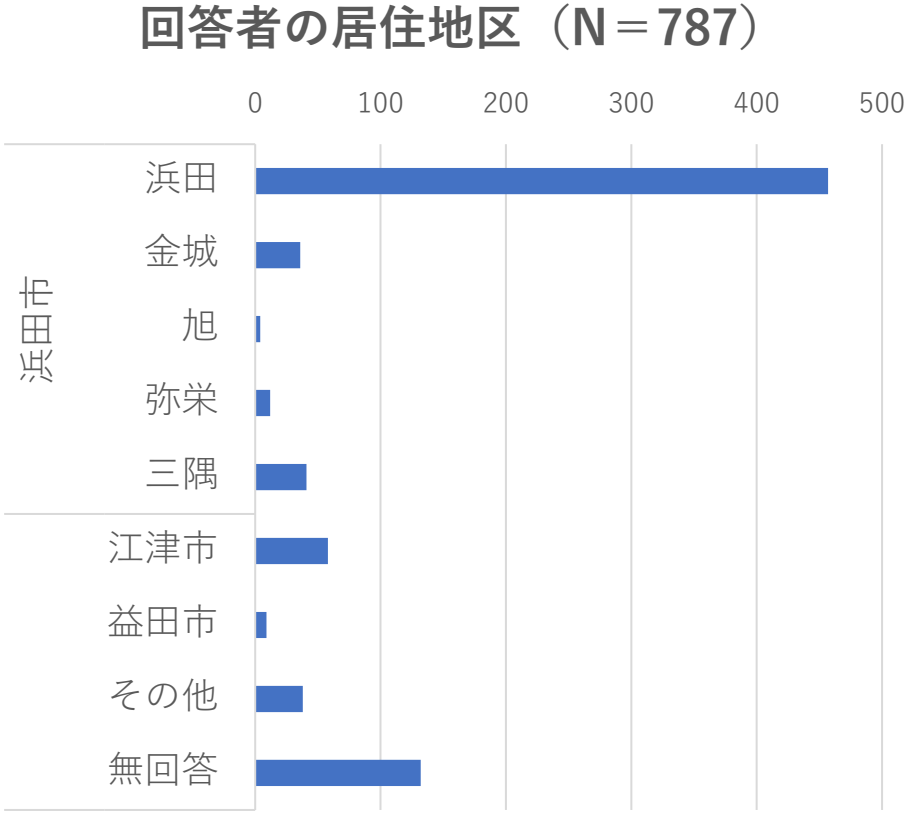
- 配布方法
  - ホームルームを通じて印刷した調査票を配布・回収

- 配布・回収状況

高校名	配布部数	回収部数	回収率
浜田水産高校	149	126	85%
浜田商業高校	209	181	87%
浜田高校	540	476	88%

回答者の属性





- 回答者の半数以上は親子の２世代，祖父母も同居する３世代の生徒も22%
- 回答者のほとんどは浜田地区に在住。
- 江津，益田からの通学者も一定程度存在するが、合計でも100名弱にとどまる

➡鉄道の混雑は江津・益田への通学もここに加わるためだと考えられる。益田・江津でも同程度の通学者が他市から通学しているとすれば、県西部３市の高校生が鉄道を利用するのは最大でも300名ではないか。

➡**混雑は一部時間帯のみに集中する点は課題**

通学時の交通手段

行き・交通手段（晴）※複数回答	
自動車（家族等の送迎）	378
自転車	270
徒歩	274
鉄道	248
石見交通バス	50
高速バス	1
市バス	18
デマンドタクシー	1

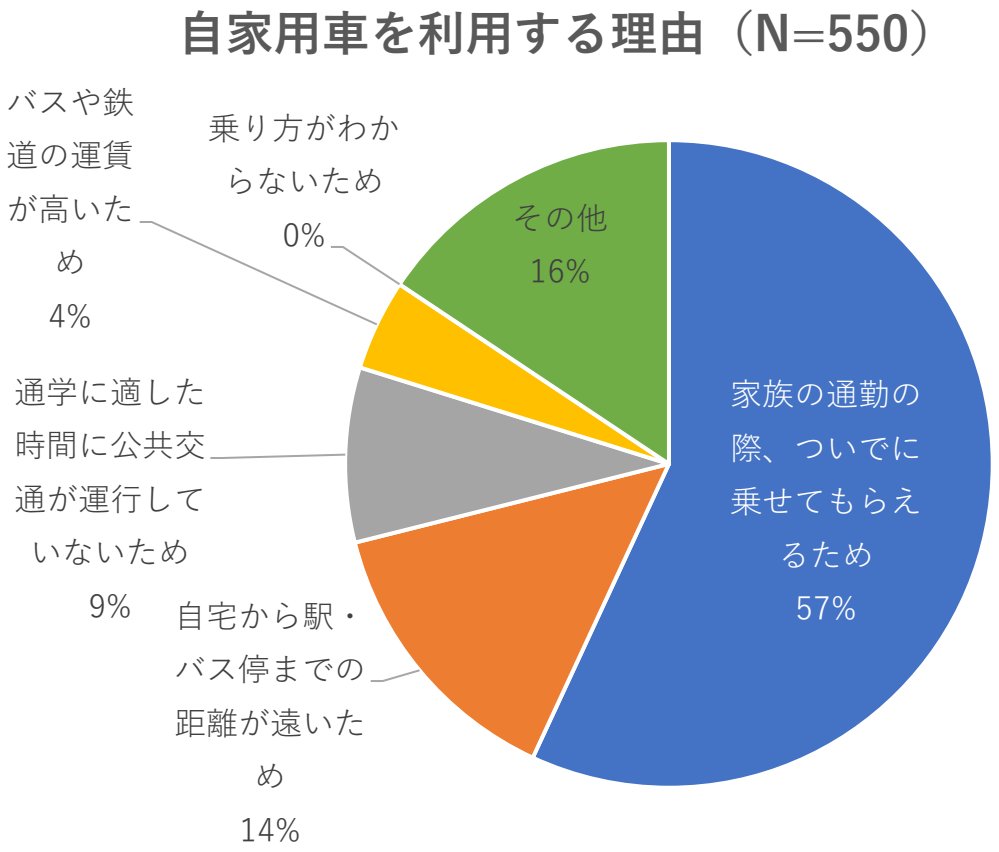
帰り・交通手段（晴）※複数回答	
自動車（家族等の送迎）	379
自転車	258
徒歩	293
鉄道	250
石見交通バス	68
高速バス	1
市バス	20
デマンドタクシー	1

行き・交通手段（雨）※複数回答	
自動車（家族等の送迎）	534
自転車	76
徒歩	282
鉄道	222
石見交通バス	60
高速バス	0
市バス	28
デマンドタクシー	1

帰り・交通手段（雨）※複数回答	
自動車（家族等の送迎）	505
自転車	74
徒歩	306
鉄道	228
石見交通バス	76
高速バス	1
市バス	27
デマンドタクシー	1

- **鉄道は雨になると利用しない生徒もいる**（雨天時は家族による送迎という生徒が多い）。**自宅が駅から離れているため**、雨の日は保護者による高校までの直通送迎が行われる。雨でも濡れずに通学できる環境が重視されているということであり、その観点では**各駅・各列車に接続するデマンドを設けるくらいの取り組みがなければ厳しい**のではないか。
- **石見交通バスは雨になると利用する生徒が増える（自転車を普段利用している生徒が中心）**
- 石見交通バスは行き・帰りで利用者数が異なるが、その多くは「行き」は保護者送迎で「帰り」にバスを使うという生徒。

通学時に保護者等の送迎をする理由



- **家族が通勤する際に便乗するという生徒が半数以上。**
  これらの生徒は公共交通を利用する積極的な理由はないものと考えられる。
- 他方、「自宅から駅・バス停までの距離」や、「運行ダイヤ」の問題を指摘する生徒は合計約23%。ただし、これらの生徒はすでに自家用車利用なのであり、よほどの利便性が確保されない限り公共交通からの転移は難しいのではないか。ただし、将来の高校生へのアプローチとしては参考にすべき。

通学時の公共交通の利用状況

鉄道	浜田水産	浜田商業	浜田高校	合計
定期券	11	69	154	**234**
回数券	0	0	5	**5**
現金	2	11	21	**34**
高校別合計	**13**	**80**	**180**	**273**

バス	浜田水産	浜田商業	浜田高校	合計
定期券	0	14	13	27
回数券	6	11	13	30
現金	9	32	44	85
高校別合計	**15**	**57**	**70**	**142**

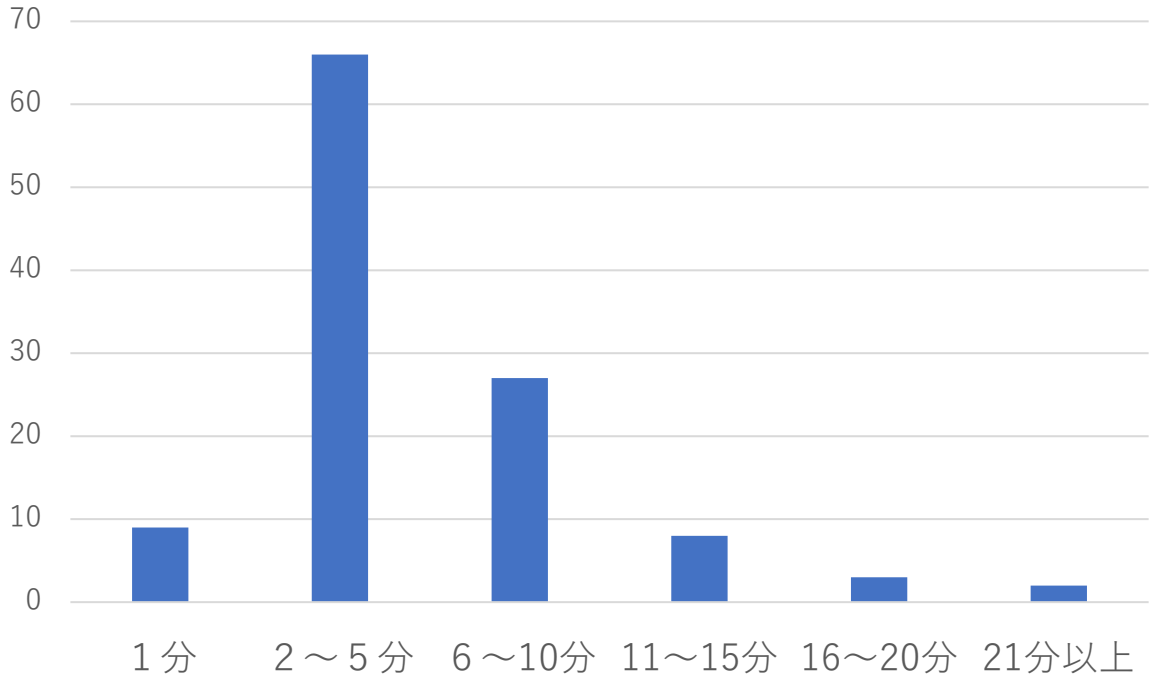
参考：各高校回答者数

	浜田水産	浜田商業	浜田高校
高校別全回答者：①	126	181	476
鉄道利用（左表）	13	80	180
バス利用（左表）	15	57	70
鉄道+バス利用：②	28	137	250
公共交通利用者割合＝②／①	**22%**	**76%**	**53%**

- 浜田水産高校は公共交通での通学割合は相対的に低い傾向にある。
- 一方、浜田商業高校は公共交通での通学割合が高い傾向。**駅・バス停から比較的近い場所に立地することが好影響をもたらしているのでは？**

自宅からバス停までのアクセス

自宅から最寄りバス停までの時間（階層別人数）



バス停までの時間

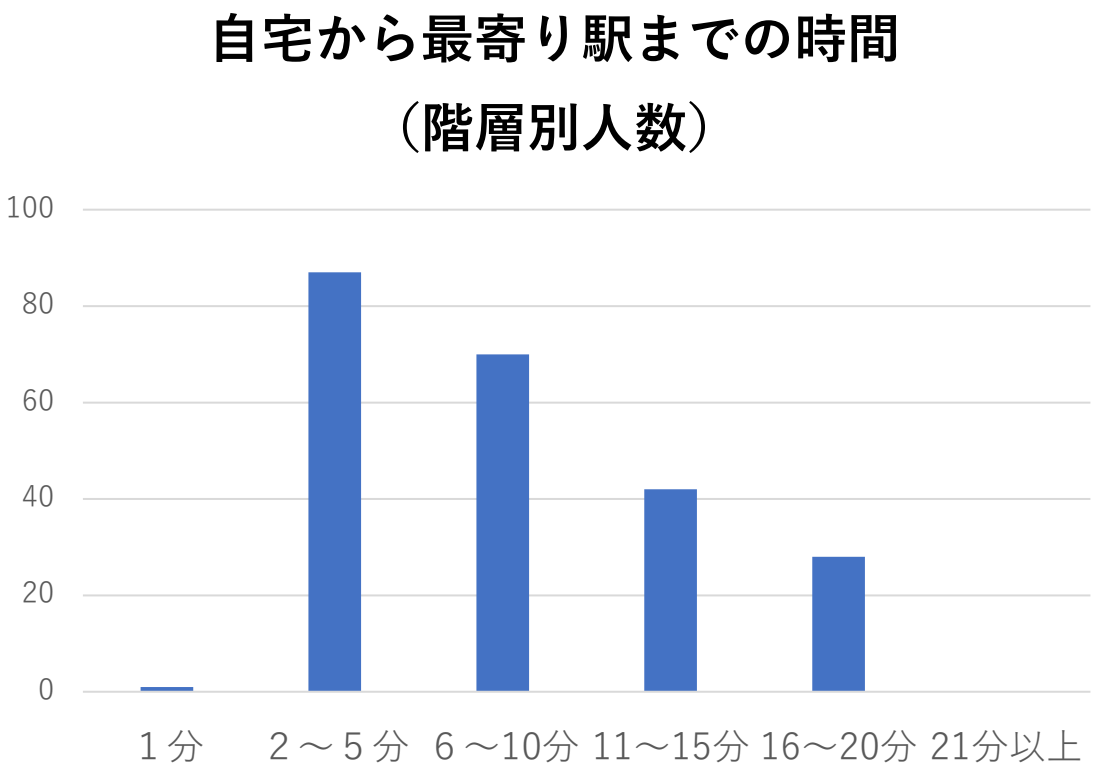
平均（分）	6.9
最大（分）	60
最小（分）	1

バス停までのアクセス手段

徒歩	97
自転車	7
車	11

- 自宅からバス停までは比較的近距離にある様子。**ダイヤ等を工夫すれば満足度は改善の余地があるかも**
- バス停までのアクセス手段は徒歩が圧倒的に多い

自宅から鉄道駅までのアクセス



鉄道駅までの時間

平均（分）	10.6
最大（分）	40
最小（分）	1

鉄道駅までのアクセス手段

徒歩	75
自転車	71
車	89

- バス停までのアクセスと比べて**鉄道駅へのアクセスでは圧倒的にクルマが多く利用されている**。駅までの保護者送迎が行われている。このことは、**鉄道駅が自宅と距離的に離れている**ことを示唆する
- つまり、鉄道を利用するためには**クルマがなければアクセスできない人が多い実態**が浮き彫りに。免許がないから高校生は仕方なく鉄道を利用するが、**免許を持つ大人にとって鉄道は移動手段としての選択肢に入らない**可能性が高い。**鉄道を活用するなら、列車到着ごとにデマンドを発車させるくらいの取り組みが必要。**
- 鉄道駅までのアクセス時間は比較的短時間で済んでいるが、クルマ利用者が多いことに留意。

外出目的

1番目に多い目的	
買い物	**426**
通院	7
塾・習い事	**149**
飲食	23
友人宅への訪問	46
レジャー、遊び	83
合計	**734**

2番目に多い目的	
買い物	**190**
通院	34
塾・習い事	59
飲食	152
友人宅への訪問	84
レジャー、遊び	**165**
合計	**684**

1番目＋2番目の目的合計	
買い物	**616**
通院	41
塾・習い事	**208**
飲食	175
友人宅への訪問	130
レジャー、遊び	**248**
合計	**1,418**

- 「買い物」が外出目的で最多。次に、「レジャー，遊び」「塾・習い事」が同程度

買い物場所・地区・交通手段

目的地	目的地場所	回答者数
ゆめタウン	港町	197
不明	不明	88
コンビニ	不明	36
トライアル	周布町	26
シティパルク	相生町	14
コスモス熱田店	熱田町	9
ブックセンタージャスト浜田店	浅井町	7
キヌヤ	不明	7
カラオケ	浅井町	6
ダップス	田町	5
キヌヤ プリル店	黒川町	5
出雲市内	出雲市	5
ウエルシア浜田田町店	田町	4
ウェルネス	片庭町	4
イオン益田店	益田市	3
スーパー	浜田市内	3
ゆめタウン益田店	益田市	1
相生町	相生町	1
エディオン益田店	益田市	1
ドラッグストア	浜田市内	1
広島市内	広島市	1
まんてん	旭町丸原	1
Aコープ	不明	1
合計		**426**

買い物場所地区	回答者数
港町	194
浜田市内	30
周布町	26
相生町	15
浅井町	13
熱田町	9
田町	9
益田市	5
黒川町	5
出雲市	5
片庭町	4
海・公園	4
広島市	1
旭町丸原	1
不明	105

買い物場所までの交通手段	回答者数
クルマ	236
自転車	68
徒歩	46
JR	9
バス	6
不明	61

通塾場所・交通手段

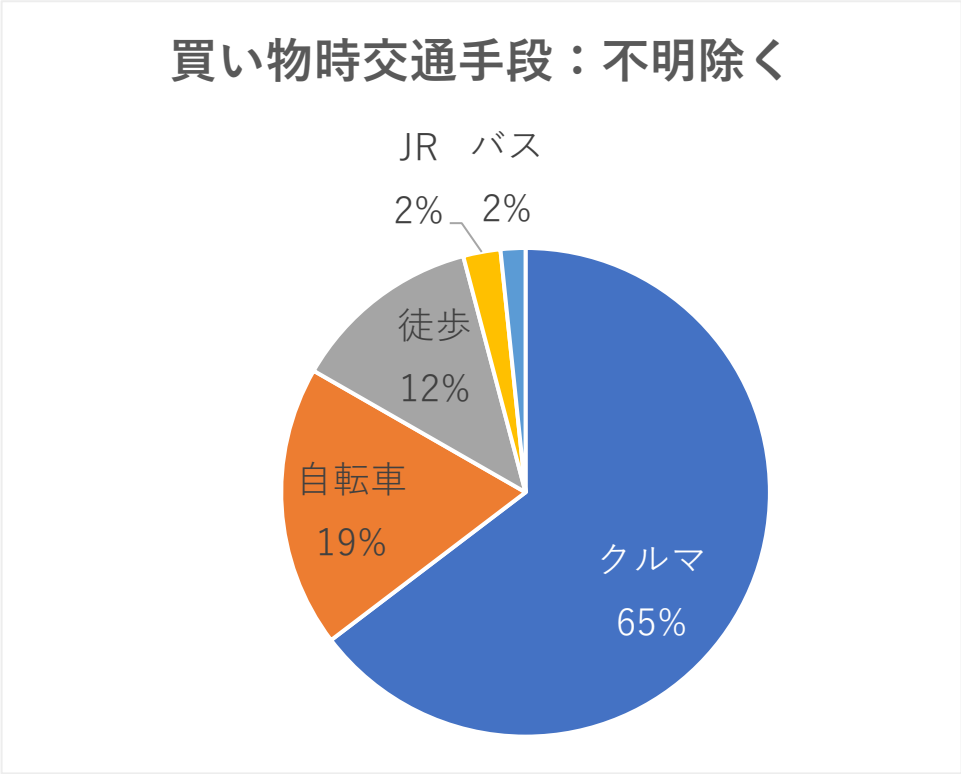
塾の名称	塾の立地場所	回答者数
瀬川塾	黒川町	19
勝田英数教室	相生町	6
明光義塾	朝日町	4
江津市内	江津市	4
地球堂模型店	朝日町	3
林政学塾	三隅町内	2
みずほ楽器浜田駅前店	浅井町	2
浜田室内プール	黒川町	2
炭本塾	清水町	2
at home塾	田町	2
ふれあいジム金城	金城町七条	1
古森塾	不明	1
卓球クラブ	竹迫町	1
咲心館	益田市	1
公文式教室原井教室	京町	1
書道教室	浜田市内	1
公民館	浜田市内	1
くさかべ真央塾	浅井町	1
川神塾	長沢町	1
プール	不明	1
不明	不明	96

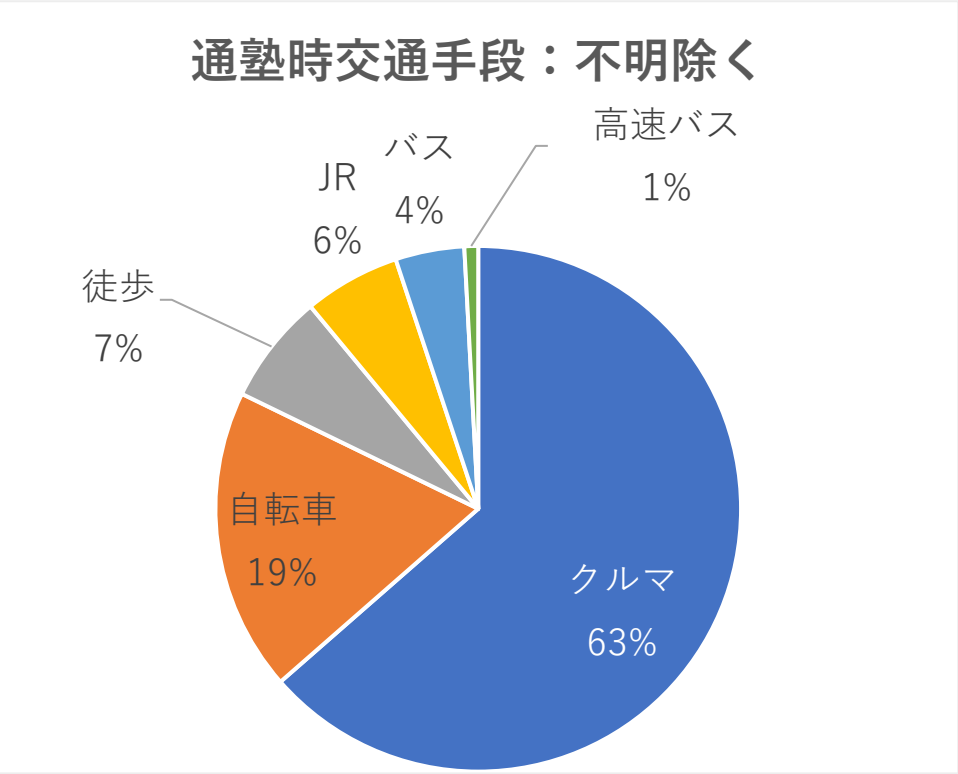
塾の立地場所	回答者数
黒川町	24
浜田市内	12
朝日町	7
相生町	7
三隅町内	4
浅井町	3
長沢町	2
清水町	2
田町	2
江津市	2
宇野町	1
金城町七条	1
竹迫町	1
益田市	1
京町	1
不明	79

塾までの交通手段	回答者数
クルマ	75
自転車	22
徒歩	8
JR	7
バス	5
高速バス	1
不明	31

- 生徒のうち、外出目的として３番目に多いものとして「塾・習い事」を挙げた（208名）
- **塾・習い事に通うための交通手段は圧倒的にクルマが多い**。夜が遅くなるからと言う理由もあると考えられる。
- 高校生向けにバス・鉄道の利用促進を訴えたいところだが、**塾・習い事の時間は夕方から夜にかけてが多いはずで、公共交通をそもそも利用できない点にも留意すべき**。ただし、行き（実質的に朝の通学）は公共交通で、帰りはクルマという方向での利用促進は十分考えられる

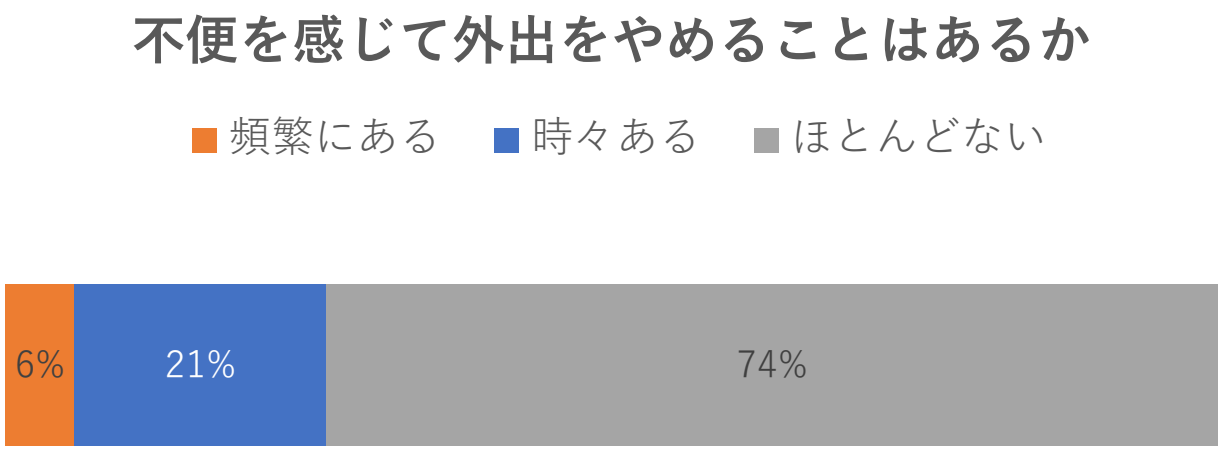
交通手段の比較：買い物と通塾





- 買い物と通塾では交通手段の傾向はほとんど共通している
- ややJRと徒歩の割合に差があるように思われる（**通塾時はJRの利用者割合が高く**、徒歩の割合が低い）
- 塾は夜までかかるため通塾手段として徒歩は選ばれにくいのかもしれない

不便を感じて外出をやめることはあるか



不便を感じて取りやめること（複数回答）

買い物	136
レジャー・遊び	89
飲食	44
友人宅への訪問	43
塾・習い事	18
通院	10
その他	0

不便を感じる理由（人）

バスの本数が少ない（外出に合った時刻の運行がない）ため	104
移動に係る費用が経済的に負担であるため	52
家族などに送迎を頼みづらいため	45
移動や乗り換えに係る時間が長いため	28
利用できるバスやデマンドタクシーが近くにないため	24
身体的に移動がきついため	19
路線バスやデマンドタクシーの利用方法がわからないため	5

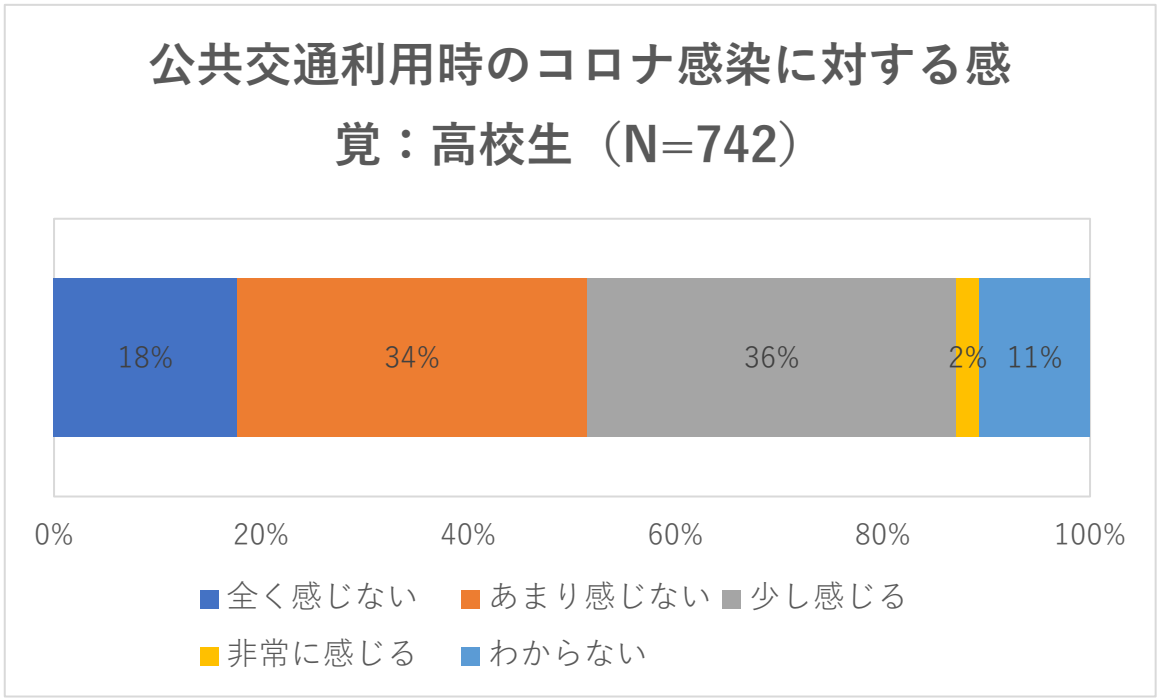
- 高齢者の場合と同じで、買い物やレジャーなど急を要さない予定をとりやめる傾向がある
- **塾や通院を取りやめる人の数は少ない**

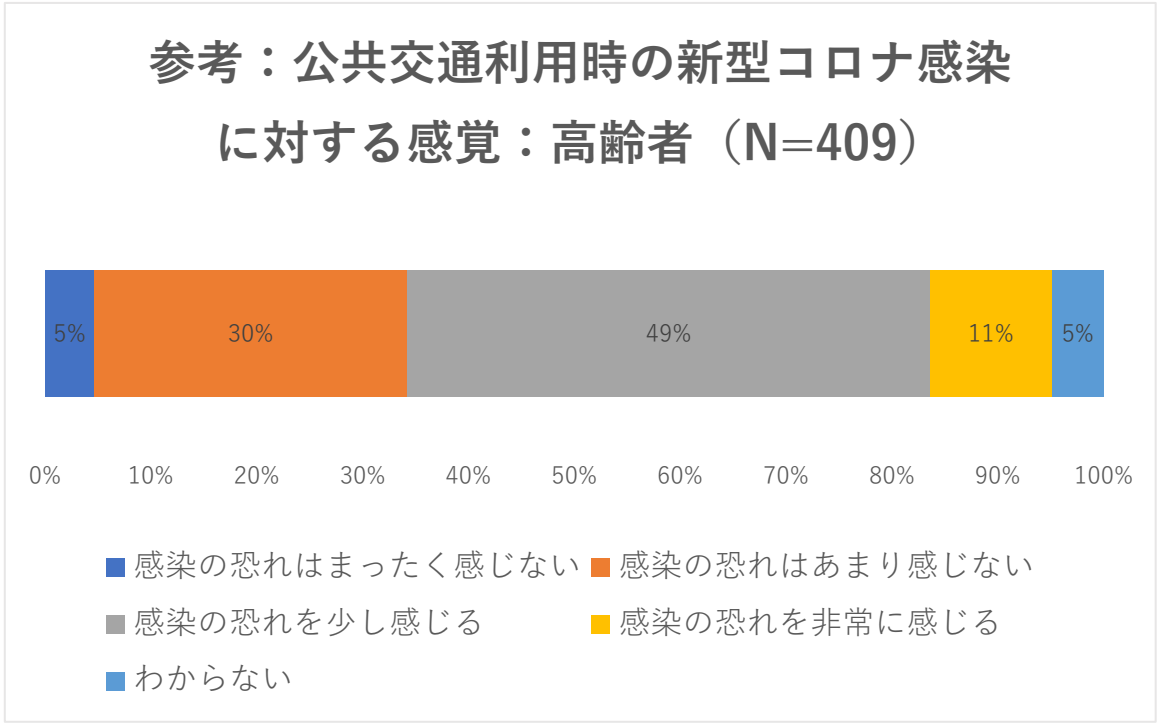
- **交通ダイヤに縛られず自由に動きたい**という高校生の思いを反映しているものと思われる

コロナによる外出の変化

コロナ前後の外出頻度

外出回数が減った	341
以前と変わらない	399
外出回数が増えた	12





- 高校生もかなりの人が外出回数を減らした。ただし、コロナ禍の学校休校を想定した回答の可能性がある。
- 高校生と高齢者の比較では、**高齢者の方が慎重な傾向**がみられる。

鉄道に関する具体的な要望

※回答原文ママ

駅	列車の遅れなどが分かりづらい(夜の遅い時間帯)
駅	もっと暖かくしてほしい。
駅	SuicaやICOCAなどのICカードを使えるようにしてほしい。
駅	みんなが涼んだり、暖まったりできる場所をつくってほしい。
駅	お手洗いをきちんと整備してほしい。何か飲食できるものがあるとよい。
駅	待合室をもっと広くしてほしい。
岡見駅	自動販売機を設置してほしい。
下府駅	券売機が少ない
鎌手駅	切符の買うところがない。
西浜田駅	ボロくて寒いです。
折居駅	キップ売場がない
全ての駅	古い
浜田駅	鉄道を待って寒いので、暖房のついた部屋を広くしてほしい。
浜田駅	寒い(冬)とても暑い(夏)
浜田駅	他県の駅みたいに食事屋がたくさんあった方がいい
浜田駅	プラットホームで待つのに、椅子が少ない。
改札口	駅員さんがいなくて、切符を払わないまま通る人がいること→電子改札にすればそれがなくなり、より安心安全に運行できると思う。
トイレ	汚すぎる

バスに関する要望

※回答原文ママ

大水道	バス停に屋根をつけてほしい
国道熱田行きのバス	見にくく、バスの方に止まってもらえない時がある
バス停	バスの遅延状況などが分かるようにしてほしい
バス停	時間通りに来ない時にまつのがさむい。
バス停	バスの遅延状況などが分かるようにしてほしい

交通全般に関する意見

要望カテゴリ	回答数
ダイヤ・本数	50
運賃	5
乗車時マナー	4
感謝	4
接客	3
交通全般	3
ダイヤ・本数，車内混雑	2
情報提供	2
車内混雑	2
ダイヤ・本数，情報提供	2
車両混雑	1
サービス改善	1

※以下のスライドに具体的な意見を列挙

ダイヤ・本数に関する意見

※回答原文ママ

No.1	次のバスまでの時間が長い。
No.2	次のバスまでの間隔が長い
No.3	益田浜田間の汽車の本数を増やしてほしい。バスの時間・どこに止まるか・料金がわかりにくい。
No.4	バスの便7：25を少しおそくしてほしいです。バスここからのるとどこにつくが少しわかりにくいです
No.5	電車の数を増やしてほしい。コロナのこともあるから、密集して乗ることがないように2両に全部してほしいです。
No.6	汽車の本数を下校の時間に合わせて増やすか、17時43分便を2両にしてほしい。
No.7	生湯の方などは本当にバスも何もなく、気軽に遊びに出掛けるのが非常に難しい。
No.8	朝のバス(7：50頃)をもう1本増やして欲しい。熱田→合同庁舎前
No.9	良い時間がない。
No.10	バスをもう少し出してほしい。周布線はいっぱいあるのに益田行きが少ない。
No.11	もっと時間を増やして欲しい。
No.12	汽車の本数が少ない
No.13	バスの本数をふやしてほしい
No.14	なるべく学校終わる時間をJRの時間に合わせてほしい
No.15	待つ時間が長いので汽車やバスの本数を増やしてほしい(1時間に3～4回ぐらい)
No.16	本数が少ない
No.17	汽車の本数を増やして欲しいです。
No.18	便を増やしてほしい
No.19	・バスの便が少ない　・バスの料金が高い
No.20	JRをふやしてほしい(12時~3時の間)

ダイヤ・本数に関する意見

※回答原文ママ

No.21	鉄道の本数が少ない。
No.22	バスが少ない
No.23	益田方面行きの帰りのJRが6時以降時間が悪い
No.24	平日部活後に適したJRの時間がないので作ってほしい
No.25	バスの本数増やしてください。
No.26	もう少し学生に寄りそった時間に運行してほしい（汽車）
No.27	ダイヤ改正
No.28	バスは全然人が乗っておらず(弥栄方面)、もったいないと感じる。小さいバスでもいいのではないかと思う。
No.29	列車の時間帯を改善してほしい。夜の便が遅い。
No.30	市内循環だけではなく、他の方面へのバスの本数も増やしてほしい。
No.31	19時の鉄道便をつくってほしい(浜田から周布方面)
No.32	列車の便が少ない。
No.33	12時帯の電車をつくってほしい
No.34	バスの交通の便をもっと増やしてほしい。1時間に1本はとおっていてほしい。
No.35	本数を増やしてほしい（バスも鉄道も）
No.36	もう少し、バスや鉄道の本数を増やすべきだと思う。のがした時すごく待つことになるため。
No.37	バスなどの本数が少ない
No.38	益田行きの19便があると便利
No.39	運行時間、回数を増やしてほしい。
No.40	汽車の便を増やしてほしい

ダイヤ・本数に関する意見

※回答原文ママ

No.41	汽車やバスの本数が少ない。
No.42	もっと本数を増やしてほしい。（バス、鉄道等）
No.43	汽車の本数を増やしてほしい。下校時間に合わせて汽車の時間帯を考えてほしい。
No.44	バスの便を増やしてほしい。
No.45	JRの数を増やしてほしい。
No.46	ちょうどいい便がないから帰れない。（JR）
No.47	17時便が1両だと狭い。人多い。便数を増やしてほしい。
No.48	帰りのバスの本数が少ないからすぐ乗れることがないので、もっと本数を増やしてほしい。
No.49	バス、電車、本数増やす。
No.50	学校が終わってから、帰りの汽車まで1時間またないといけない
No.51	バスの時間も増やしてほしい
No.52	もっと便を増やしてほしい
No.53	汽車の便を増やしてください
No.54	バスの便が少ない

接客・情報提供・マナー・混雑について

No.	要望カテゴリ	内容
No.55	接客	運転手の方が降りる人、降車ボタン、アナウンスを確認すること。ひばりヶ丘バス停は人がいるか確認しずらいが、きちんと止まってほしい。
No.56	接客	JRやバス、タクシーの運転手の人に優しい人がいなくて、使いづらい。
No.57	接客	バスの運転手のたいどが悪い人がいる。
No.58	情報提供	時刻表や乗り場の表示を分かりやすくしてほしい。
No.59	情報提供	鉄道の遅延の情報をネットに素早くあげてほしいです。

No.	要望カテゴリ	内容
No.60	乗車時マナー	マスクをしていない人の乗車を断ってほしい。
No.61	乗車時マナー	マスクをつけてない人が目立つ、せめて公共の場ではつけてほしい
No.62	乗車時マナー	もうマスクつけなくて良いと思う
No.63	乗車時マナー	車内での飲食の是非について
No.64	車両混雑	汽車でいい便がなかなかないです乗車する人が多いのに1両だと大変です。
No.65	車内混雑	17:30頃浜田駅を江津方面に発車する列車を2両にしてほしいです。
No.66	車内混雑	1両編成の時など、人であふれかえってしまって大変。せめて2両以上の運行がよい。（通勤・通学の時間帯やお昼ごろの便）

※回答原文ママ

サービス改善・運賃・感謝のコメント

No.	要望カテゴリ	内容
No.67	サービス改善	汽車やバスの本数が減って利用しづらくなっているにも関わらず、運賃を値上げされるともっと利用しづらくなるので、せめて本数を増やすか運賃を下げるのどちらかは行ってほしい。
No.68	交通全般	浜田駅から西浜田駅の間のあたりに住んでいるのでその区間で、もう1駅あったら便利だし、利用してみたいなと思います。
No.69	交通全般	バスを廃止して、電車などにお金を使い、料金を安くするべき
No.70	交通全般	公共交通は誰にとっても使いやすいものであってほしい。
No.71	感謝	時々お世話になっています。
No.72	感謝	いつも安全運転をありがとうございます。
No.73	感謝	いつもお世話になってます。これからもよろしくお願いします。
No.74	感謝	いつもありがとうございます。

No.	要望カテゴリ	内容
No.75	運賃	バスの運賃が少し高いなと感じる。通学の往復だけで700円近くするので利用回数が少なくなる。バスの本数が少し少ないと感じる。
No.76	運賃	学割をもっと減らしてほしい(浜田→広島バスセンター)。
No.77	運賃	出雲までが少し高いと思う
No.78	運賃	バスの料金が少し高い。
No.79	運賃	バスの運賃が高い！　安くしたら皆乗るのに高いから乗る人が少ない。

※回答原文ママ

回答意見に対するコメント

- 便数の少なさ，学校に合わせた運行を求める声が多い。鉄道は複数都市をまたがって運行するダイヤを組まざるを得ないという特性を有することから，学校・部活側が始業時刻や終業時刻を調整する対応が必要。乗車目的が限られているため，バスも本数を増やしたからといって輸送量が大きく増えるわけではない。
- 運賃が高いという意見の本質はサービス水準としての本数の割に高く感じてしまっているということではないか。人件費，燃料費が高騰するなか，現状の運賃制度（総括原価方式）で運賃を低廉化させることは考え難い。仮に運賃制度を改めるとしても，協議運賃を活用したゾーン運賃の導入など，抜本的な対策が必要になるが，それは全国的にも例が少ない。仮に運賃低廉化を現行制度のもとで進めるのであれば，市の運賃助成に頼らねばならないのでは。
- 交通政策全般についての意見もある。市の交通政策として移動のしやすさをいかに充足するかが問われている
- 乗車時マナー（マスク着用）に対する意見は人により感覚が異なる。今までどおり，国のガイドラインに即した対応がよいのでは。
- 接客についての意見もあるが、安全運転、時刻遅延に対する精神的負担に加え，さまざまな乗客にも完璧な接遇を求めることは難しいかもしれない。全国的にカスハラが横行し，無愛想な乗客が大半であることにも留意しつつ，ご意見として受け止めればよいのでは

回答意見に対するコメント

- 感謝をのべる生徒もいる点は歓迎されるべき。悪い点を改善するよりも，評価されている点を伸ばすという対応も必要かもしれない。その観点では，どういう点を評価しているのか今後詳しく分析すべきかも。
- 駅だけでなく，バスの待合施設の改善要望は高校生・高齢者の区別なく同じ意見が見られることに留意すべき。本数が少なくても空調・机と椅子を設置するなど待合環境さえよければ時間を有効活用できる。
- 駅の切符売り場がないという要望について，情報化リテラシーが高まりつつあるなか，乗車券類はモバイル乗車券を積極的に活用すべきでは。ネットを使えない人対策は別途検討としても，できる限り事業者の効率的な運営を促しその原資を交通維持・サービス水準の向上に活用すべきでは。
- 情報提供についても、バスの位置情報をリアルタイムに提供するなど、オンライン化が必要では。ダイヤ変更の情報は、バスの中吊り広告だけでは情報周知は不十分なのでバス停，車両ラッピングなども積極的に活用すべきでは。
- 車内混雑については通学時の車両増結を要望する声が一定数ある。ただし，今回のアンケートからも鉄道利用者は浜田市内の高校に通う生徒だけで100名弱。つまり通学時間帯にのみ利用が集中する状況。車両増結の必要性について要望したり支援策を検討したりするためにも実際の乗車率に関する事柄についてJRからも情報提供がなされるべきでは。
- バス～バスの乗り継ぎは市の交通体系ではあまり想定されていない。そのため，ODを精査する必要がある。